

学生等に対する実態調査について

1. 目的

本実態調査は、臨床実習の単位追加などのカリキュラム等の見直しを検討するにあたり、より実態に即した教育内容への見直しを行えるように、学生等が実経験を通して、現教育内容についてどのような問題意識を持っているのかを把握し、その結果を踏まえ、今後の議論の中で参考にすることを目的として実施するものである

2. 調査方法

(1) 学生

当調査に協力いただける学校養成施設を複数選定し、最終学年の生徒を対象に別紙（1）アンケートにより実施（P1～）

・理学療法士・作業療法士 各10施設

大学	4施設
専門学校（4年制 昼間）	2施設
専門学校（4年制 夜間）	1施設
専門学校（3年制 昼間）	2施設
専門学校（3年制 夜間）	1施設

(2) 卒業生

9月～10月上旬に行われる理学療法士協会、作業療法士協会が実施する新人研修において、別紙（2）アンケートにより実施（P5～）

(3) 臨床実習指導者

理学療法士協会、作業療法士協会の会員の臨床実習指導者に、別紙（3）アンケートにより実施（P10～）

3. スケジュール

9月～10月：アンケートの実施

第3回検討会：アンケート結果の取り纏め報告

《養成施設関係》

(1) 入学前に知りたかった養成施設の情報はどれか。(複数回答可)

- 教育内容 就職状況 国家試験合格率 退学・留年率 教員情報
費用 その他(_____)

(2) 入学前に知った養成施設の情報のなかで、入学後に異なっていると感じたものはあるか。ある場合はその内容はどれか。

- 教育内容 就職状況 国家試験合格率 退学・留年率 教員情報
費用 その他(_____)

(3) 養成施設入学後に学力評定(目標達成度)の基準等は明確に明示されたか。

●学内講義科目

- 全ての科目が明示された 殆どの科目が明示された
殆どの科目が明示されていない 全ての科目が明示されていない

●学内実習(演習)科目

- 全ての科目が明示された 殆どの科目が明示された
殆どの科目が明示されていない 全ての科目が明示されていない

●学外実習科目(臨床実習)

- 明示された 明示されていない

(4) 養成施設入学後の学力評定(目標達成度)は公平に行われていると感じているか。

●学内講義科目

- 全ての科目が公平に行われている 殆どの科目が公平に行われている
殆どの科目が公平に行われていない 全ての科目が公平に行われていない

●学内実習(演習)科目

- 全ての科目が公平に行われている 殆どの科目が公平に行われている
殆どの科目が公平に行われていない 全ての科目が公平に行われていない

●学外実習科目(臨床実習)

- 公平に行われている 公平に行われていない

(5) 養成施設には、ハラスメント等のための相談窓口はあるか。

- 相談窓口がある 相談窓口はない
相談窓口があるかわからない

(6) ハラスメントについて、具体的にどのような行為がハラスメントになり、実際に被害にあった場合の対応について養成施設から説明等があったか。

- 説明等があった 説明等はない
説明等があったか覚えていない

(7) 上記(5)で「相談窓口がある」と回答した場合、相談窓口は利用しやすいと思うか。

- 利用しやすいと思う 利用しにくいと思う
分からない

《臨床実習関係》

(8) 患者に触れる臨床実習を行う前に、養成施設において臨床実習を行う知識・技能があるかの実技試験・評価等がありましたか。

- 実技試験・評価等を受けた 実技試験・評価等は受けていない
患者に触れる臨床実習を行っていない

(9) 患者に触れる臨床実習を行った後に、養成施設において当該臨床実習の評定等のための技能に関する実技試験・評価等がありましたか。

- 実技試験・評価等を受けた 実技試験・評価等は受けていない
患者に触れる臨床実習を行っていない

(10) 養成施設の授業で修得した知識・技能が、臨床実習の現場で必要とされた知識・技能と一致していたか。

- 一致していた 不足していると感じた

(11) 上記で「不足していると感じた」と回答した場合、どんな教育が必要と思うか。

()

(12) 臨床実習は、実習指導者の指導・監督のもとで行われたか。

- 全て実習指導者の指導・監督のもとで行われた
殆ど実習指導者の指導・監督のもとで行われた
殆ど実習指導者の指導・監督のもとで行われなかった
全て実習指導者の指導・監督のもとで行われなかった

(13) 臨床実習は、患者の同意のもとで行われたか。

- 全ての実習は患者の同意のもとで行われた
殆どの実習は患者の同意のもとで行われた
殆どの実習は患者の同意のもとで行われなかった
全ての実習は患者の同意のもとで行われなかった
患者の同意を得ているか把握していない

(14) 臨床実習施設における実習生の人数に対する実習指導者数に過不足を感じたか。

- 実習指導者に対して学生が多いと感じた
実習指導者に対して学生がもう少し多くてもいいと感じた
実習指導者に対する学生の人数は適切と感じた

(15) 実習指導者は、実習生に対し公平であり、その指導は適切であったと感じたか。

- 全ての実習指導者が、公平・適切であった
殆どの実習指導者が、公平・適切であった
殆どの実習指導者が、公平・適切でなかった
全ての実習指導者が、公平・適切でなかった

(16) 臨床実習中のレポートやデイリーノート(日報)などの課題は、自宅に持ち帰ることなく臨床実習中に完結できる量であったか。

- 日々の臨床実習時間内に行える量であった
- 時々自宅に持ち帰り課題を行っていた
- 殆ど自宅に持ち帰り課題を行っていた
- 毎日自宅に持ち帰り課題を行っていた
- レポートや日報などの課題は無かった

(17) 上記で「殆ど自宅に持ち帰り課題を行っていた」、「毎日自宅に持ち帰り課題を行っていた」と回答した場合、自宅で課題に費やす1日あたりの時間はどの程度か。

- 1時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 2時間以上3時間未満
- 3時間以上

(18) 臨床実習期間中の睡眠時間は、養成施設での講義日と比べてどうか。

- 講義日と変わらないか、講義日より多く睡眠している
- 講義日より1~2時間程度睡眠時間が少ない
- 講義日より3~4時間程度睡眠時間が少ない
- 講義日より5時間以上睡眠時間が少ない

(19) 上記で講義日より睡眠時間が少ないと回答した場合、その理由を記載して下さい。

()

(20) 臨床実習が原因で心身に不調をきたしたことがあるか。

- 心身に不調をきたし、病院を受診したことがある
- 心身に不調をきたしたことがあるが、病院は受診していない
- ない

(21) 臨床実習中に、実習指導者からハラスメントと思われる言動等を受けたことがあるか。

- 受けたことがある
- 受けたことがない

(22) 上記で「受けたことがある」と回答した場合、以下の者に相談したか。また、その対応は問題解決のため十分な対応だったか。

- 養成施設の教員 (相談した 相談していない)
 - 十分な対応をして貰えた
 - 十分な対応をして貰えなかった
- 養成施設の相談窓口 (相談した 相談していない)
 - 十分な対応をして貰えた
 - 十分な対応をして貰えなかった
- 臨床実習先の職員 (相談した 相談していない)
 - 十分な対応をして貰えた
 - 十分な対応をして貰えなかった

(23) 臨床実習において、実習実施が困難になったことがあるか。またその際の養成施設から補習等の支援等があったか。

- 実習実施が困難になったことがあり、養成施設から補習等の支援等があった
- 実習実施が困難になったことがあるが、養成施設から支援等はなかった
- 実習実施が困難になったことがない

(24) 臨床実習施設の設備について、以下のうち改善が必要と感じたものがあるか。

- 実習設備
- 休憩室
- 更衣室
- ロッカー
- 机等

(25) 養成カリキュラムの見直しに向けて、充実して欲しい教育内容などの要望があれば記載願います。(自由記載)

(_____)

《基本事項》

(1) 卒業した理学療法士/作業療法士養成施設は、以下のうちどれか。

- 大学 短期大学(昼間部) 短期大学(夜間部)
特別支援学校 専門学校(4年制・昼間部) 専門学校(4年制・夜間部)
専門学校(3年制・昼間部) 専門学校(3年制・夜間部)

(2) 就業先は、以下のうちどれか。

- 病院(急性期) 病院(回復期) 病院(その他) 診療所
介護老人保健施設 訪問リハ関連施設(訪問リハ、訪問看護ステーション)
通所介護/通所リハ 介護予防関連施設 小児関連施設
その他(_____)

(3) 臨床経験年数は、以下のうちどれか。

- 1年未満 1年以上3年未満 3年以上

(4) 現在の職場では、新人職員に対する教育がありましたか。

- 新人職員対象の教育プログラムがある
OJT*等による教育がある(※職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育)
新人教育はない
その他(_____)

(5) 「新人職員対象の教育プログラムがある」と回答した場合、それはどの程度でしたか。

- 1週間以内 1週間以上1ヶ月以内 1ヶ月以上

《養成施設関係》

(6) 現在の臨床を踏まえ、養成施設の教育で必要だったと思う授業があれば、記載して下さい。

(_____)

(7) 現在の臨床を踏まえ、養成施設の教育で不要だったと思う授業があれば、記載して下さい。

(_____)

(8) 養成施設での臨床実習は、以下のどの施設で行ったか。また、実際に経験したかった施設は以下のどの施設か。(複数回答可)

●実際に経験した施設(複数回答可)

- 病院(急性期) 病院(回復期) 病院(その他) 診療所
介護老人保健施設 訪問リハ関連施設(訪問リハ、訪問看護ステーション)
通所介護/通所リハ 介護予防関連施設 小児関連施設
その他(_____)

●経験したかった施設(複数回答可)

- 病院(急性期) 病院(回復期) 病院(その他) 診療所
介護老人保健施設 訪問リハ関連施設(訪問リハ、訪問看護ステーション)
通所介護/通所リハ 介護予防関連施設 小児関連施設
その他(_____)

(9) 養成施設での臨床実習で、経験した内容は以下のどれか。(複数回答可)

- 見学 基本的な検査・測定まで患者に対して実施
基本的な評価・治療についての補助までを患者に対して実施
患者の障害像の全体を把握し、ゴール・プログラム立案等まで実施

(10) 養成施設での臨床実習で、患者に触れる臨床実習は行ったか。またその際には、どのような形態での実習だったか。

- 患者に触れる臨床実習はなかった
臨床実習先のチーム医療の一員として、患者に触れる臨床実習を行った
患者を担当する形態での患者に触れる臨床実習を行った

(11) 養成施設での患者に触れる臨床実習で経験した症例及び症例数はどの程度だったか。(複数回答可)

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 中枢神経疾患 | (<input type="checkbox"/> 3人未満 | <input type="checkbox"/> 3人以上5人未満 | <input type="checkbox"/> 5人以上) |
| <input type="checkbox"/> 整形外科疾患 | (<input type="checkbox"/> 3人未満 | <input type="checkbox"/> 3人以上5人未満 | <input type="checkbox"/> 5人以上) |
| <input type="checkbox"/> 精神疾患 | (<input type="checkbox"/> 3人未満 | <input type="checkbox"/> 3人以上5人未満 | <input type="checkbox"/> 5人以上) |
| <input type="checkbox"/> 循環器疾患 | (<input type="checkbox"/> 3人未満 | <input type="checkbox"/> 3人以上5人未満 | <input type="checkbox"/> 5人以上) |
| <input type="checkbox"/> 呼吸器疾患 | (<input type="checkbox"/> 3人未満 | <input type="checkbox"/> 3人以上5人未満 | <input type="checkbox"/> 5人以上) |
| <input type="checkbox"/> 小児科疾患 | (<input type="checkbox"/> 3人未満 | <input type="checkbox"/> 3人以上5人未満 | <input type="checkbox"/> 5人以上) |
| <input type="checkbox"/> その他 | (_____) | | |

(12) 養成施設での臨床実習は、現在の臨床に役立っていますか。

- 役立っている
概ね役立っている
あまり役立っていない
役立っていない

(13) 養成施設は、留年等することなく卒業できましたか。

- 留年等することなく卒業した
留年等した

(14) 上記で「留年等した」と回答した場合、その理由は以下のうちどれか。

- 臨床実習以外の単位不足による留年
臨床実習の単位不足による留年
休学
その他(_____)

(15) 養成施設在学時に学力評定(目標達成度)の基準等は明確に明示されたか。

- 学内講義科目
 - 全ての科目が明示された
 - 殆どの科目が明示された
 - 殆どの科目が明示されなかった
 - 全ての科目が明示されなかった
- 学内実習(演習)科目
 - 全ての科目が明示された
 - 殆どの科目が明示された
 - 殆どの科目が明示されなかった
 - 全ての科目が明示されなかった
- 学外実習科目(臨床実習)
 - 明示された
 - 明示されなかった

(16) 養成施設在学時の学力評定(目標達成度)は公平に行われていると感じたか。

- 学内講義科目
 - 全ての科目が公平に行われた
 - 殆どの科目が公平に行われた
 - 殆どの科目が公平に行われなかった
 - 全ての科目が公平に行われなかった
- 学内実習(演習)科目
 - 全ての科目が公平に行われた
 - 殆どの科目が公平に行われた
 - 殆どの科目が公平に行われなかった
 - 全ての科目が公平に行われなかった
- 学外実習科目(臨床実習)
 - 公平に行われてた
 - 公平に行われなかった

(17) 養成施設には、ハラスメント等のための相談窓口はあったか。

- 相談窓口があった
- 相談窓口はなかった
- 相談窓口があったか知らない

《臨床実習関係》

(18) 患者に触れる臨床実習を行う前に、養成施設において臨床実習を行う技能があるかの実技試験・評価等がありましたか。

- 実技試験・評価等を受けた
- 実技試験・評価等は受けていない
- 患者に触れる臨床実習を行っていない、または受けたか覚えていない

(19) 患者に触れる臨床実習を行った後に、養成施設において当該臨床実習の評定等のための技能に関する実技試験・評価等がありましたか。

- 実技試験・評価等を受けた
- 実技試験・評価等は受けていない
- 患者に触れる臨床実習を行っていない、または受けたか覚えていない

(20) 臨床実習は、実習指導者の指導・監督のもとで行われたか。

- 全て実習指導者の指導・監督のもとで行われた
- 殆ど実習指導者の指導・監督のもとで行われた
- 殆ど実習指導者の指導・監督のもとで行われなかった
- 全て実習指導者の指導・監督のもとで行われなかった

(21) 臨床実習は、患者の同意のもとで行われたか。

- 全ての実習は患者の同意のもとで行われた
- 殆どの実習は患者の同意のもとで行われた
- 殆どの実習は患者の同意のもとで行われなかった
- 全ての実習は患者の同意のもとで行われなかった
- 患者の同意を得ているか把握していない

(22) 臨床実習施設における実習生の人数に対する実習指導者数に過不足を感じたか。

- 実習指導者に対して学生が多いと感じた
- 実習指導者に対して学生がもう少し多くてもいいと感じた
- 実習指導者に対する学生の人数は適切と感じた

(23) 実習指導者は、実習生に対し公平であり、その指導は適切であったと感じたか。

- 全ての実習指導者が、公平・適切であった
- 殆どの実習指導者が、公平・適切であった
- 殆どの実習指導者が、公平・適切でなかった
- 全ての実習指導者が、公平・適切でなかった

(24) 臨床実習中のレポートや日報などの課題は、自宅に持ち帰ることなく臨床実習中に完結できる量であったか。

- 臨床実習中に行える量であった
- 時々自宅に持ち帰り課題を行っていた
- 殆ど自宅に持ち帰り課題を行っていた
- 毎日自宅に持ち帰り課題を行っていた
- レポートや日報などの課題は無かった

(25) 上記で「殆ど自宅に持ち帰り課題を行っていた」、「毎日自宅に持ち帰り課題を行っていた」と回答した場合、自宅で課題に費やす1日あたりの時間はどの程度だったか。

- 1時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 2時間以上3時間未満
- 3時間以上

(26) 臨床実習期間中の睡眠時間は、養成施設での講義日と比べてどうだったか。

- 講義日と変わらないか、講義日より多く睡眠していた
- 講義日より1～2時間程度睡眠時間が少なかった
- 講義日より3～4時間程度睡眠時間が少なかった
- 講義日より5時間以上睡眠時間が少なかった

(27) 上記で講義日より睡眠時間が少ないと回答した場合、その理由を記載して下さい。

()

(28) 臨床実習が原因で心身に不調をきたしたことがあるか。

- 心身に不調をきたし、病院を受診したことがある
心身に不調をきたしたことがあるが、病院は受診していない
ない

(29) 臨床実習中に、実習指導者からハラスメントと思われる言動等を受けたことがあるか。

- 受けたことがある 受けたことがない

(30) 上記で「受けたことがある」と回答した場合、以下の者に相談したか。また、その対応は問題解決のため十分な対応だったか。

- 養成施設の教員 (相談した 相談していない)
十分な対応をして貰えた 十分な対応をして貰えなかった
- 養成施設の相談窓口 (相談した 相談していない)
十分な対応をして貰えた 十分な対応をして貰えなかった
- 臨床実習先の職員 (相談した 相談していない)
十分な対応をして貰えた 十分な対応をして貰えなかった

(31) 臨床実習において、実習実施が困難になったことがあるか。またその際の養成施設から補習等の支援等があったか。

- 実習実施が困難になったことがあり、養成施設から補習等の支援等があった
実習実施が困難になったことがあるが、養成施設から支援等はなかった
実習実施が困難になったことがない

(32) 臨床実習施設の設備について、以下のうち改善が必要と感じたものがあるか。

- 実習設備 休憩室 更衣室 ロッカー 机等

(33) 養成カリキュラムの見直しに向けて、充実して欲しい教育内容などの要望があれば記載願います。(自由記載)

()

《基本事項》

(1) 直近で臨床実習指導者(スーパーバイザー)を行った施設は以下のうちどれか。

- 病院(急性期) 病院(回復期) 病院(その他) 診療所
 介護老人保健施設 訪問リハ関連施設(訪問リハ、訪問看護ステーション)
 通所介護/通所リハ 介護予防関連施設 小児関連施設
 その他(_____)

(2) 臨床経験年数は、以下のうちどれか。

- 5年未満 5年以上10年未満 10年以上

《臨床実習関係》

(3) 臨床実習で行っている実習内容は以下のうちどれか。(複数回答可)

- 見学 基本的な検査・測定まで患者に対して実施
 患者の障害像の全体を把握し、ゴール・プログラム立案等まで実施
 基本的な評価・治療についての補助までを患者に対して実施

(4) 臨床実習においてクリニカル・クラークシップ(CCS: 診療参加型実習)を導入しているか。

- 導入している
 導入を検討している
 導入していない
 CCSを知らない

(5) 臨床実習の実習内容や実習方法等はどう決めていますか。

- 養成施設と打合せ等を行い実習内容、実習方法等を決めている
 養成施設から依頼された実習内容、実習方法等により実習を行っている
 実習施設において実習内容や実習方法等のプログラムを作成し、養成施設の依頼に合ったプログラムにより実習を行っている
 実習施設において実習内容、実習方法等を決めている
 実習内容や実習方法をどう決定しているか知らない

(6) 臨床実習の成績の判定方法はどうしているか。

- 臨床実習施設(実習指導者を含む)が判断している
 臨床実習施設(実習指導者を含む)から、養成施設へ実習の状況等を報告し、養成施設が判断している
 判定方法は分からない

(7) 患者に触れる臨床実習について、実習生は臨床実習を行うための技能等が不足していると感じることはありますか。

- 臨床実習を行うための技能等の不足を感じる
 時々、臨床実習を行うための技能等の不足を感じる
 臨床実習を行うための技能等の不足は感じない

(8) 患者に触れる臨床実習前に、養成施設においてもっと教育してほしい教育内容があれば、記載して下さい。

()

(9) 臨床実習は、実習指導者の指導・監督のもとに行っているか。

- 全て実習指導者の指導・監督のもとで行っている
- 殆ど実習指導者の指導・監督のもとで行っている
- 殆ど実習指導者の指導・監督のもとで行っていない
- 全て実習指導者の指導・監督のもとで行っていない

(10) 臨床実習は、患者の同意のもとで行っているか。

- 全ての実習は患者の同意のもとで行っている
- 殆どの実習は患者の同意のもとで行っている
- 殆どの実習は患者の同意のもとで行っている
- 全ての実習は患者の同意のもとで行っている
- 患者の同意を得ているか把握していない

(11) 実習指導者1人に対して実習生は何名程度が適切と考えるか。

- 実習指導者1人に対して実習生1人程度
- 実習指導者1人に対して実習生2人程度
- 実習指導者1人に対して実習生3人程度
- 実習指導者1人に対して実習生5人程度以上
- その他 ()

(12) 養成カリキュラムの見直しに向けて、充実して欲しい教育内容などの要望があれば記載願います。(自由記載)

()